

「乳癌に合併した肺サルコイドーシス症例 -リンパ節転移との鑑別診断- についての観察研究」 について

加古川中央市民病院乳腺外科では、現在外来通院患者さんのうち乳癌の患者さんを対象に研究を実施しています。内容については下記の通りになっています。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

乳癌は発見時や術後経過の中で、リンパ節転移を認めることはしばしばみられることであり、その後の予後を決める因子となっています。

近年の化学療法や分子標的薬の開発・進歩により、たとえ遠隔転移があっても適切な治療を行えば、長期 QOL を維持できることがあります。

一方、縦隔や肺門部、肺、腹部リンパ節に慢性炎症性病変が発生するサルコイドーシスという病気があり、画像上リンパ節転移に似ており、その鑑別が困難であることがあります。

悪性の転移であるのか、良性で病期に影響しないサルコイドーシスなのか、その後の治療方針に大きく関わる重要な所見であり適切に診断することが重要です。

今回、PET-CT を用いて、同時期に発生したリンパ節転移とサルコイドーシス症例とを比較し検討します。

【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日～2021 年 3 月 31 日。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2018 年 4 月から 2020 年 6 月までに、当院で経験した乳癌 1400 例のうち、肺門・縦隔にリンパ節腫大を指摘され、精査で肺サルコイドーシスと診断された 4 例と、同時期に同部のリンパ節転移を認めた 4 例について、PET-CT での局在性の特徴、集積部の SUV、腫瘍マーカーを比較検討いたします。

【個人情報保護の方法】

調査により得られた患者さんの情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化し、当院医局で管理します。匿名化に用いる対応表は、当院内のデータベース内のみで管理し、印刷や外部持ち出しは行いません。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は使いません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において使用したデータ等は、少なくとも本研究の終了報告から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日または遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、印刷や外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、その方に関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者様のデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降患者様のデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消した時点ですでに研究成果が論文などで公表されている場合には廃棄ができません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 乳腺外科
医師 土屋和彦
連絡先：079-451-5500